

まちを守る消防団

今までは誰かがやってくれていた。でも今度は、あなたが誰かのため、そして自分の大切な人のために動いてみませんか



消防本部総務課 ☎ 68-0936

出動の流れ

火災・災害
発生!!



メールで
お知らせ

最寄りの
詰所に参集



装備を整えて
いざ出動



地域の防火・防災の中心的役割を担う消防団。消防団の歴史は古く、江戸時代に、八代將軍吉宗が設置させた町火消「いろは四八組」が、今日の消防団の前身であると言われています。消防団員は消防士と混同されがちですが、その違いを知っていますか。消防士は常勤の消防職員であるのに対し、消防団員は、普段は会社員や学生などの生業のかたわら、発災時には現場に駆け付ける、非常勤で特別職の地方公務員です。災害に対応できるよう、さまざまな訓練を実施しており、現在に至るまで、多くの災害に対応してきました。

本市の消防団には、9つの分団があり、分団は大塚から西浦まで、学区または総代区ごとに編成され、各地区を管轄しています。消防団員は地域住民で構成されていることが多く、火災や災害が発生した時には、迅速に駆けつけることができます。そのため、消防署が遠い地域や消防車がすぐに到着できない場所では、消防団が初期対応に当たることで、被害の拡大を防いだこともありました。また、「あの家には足の悪い高齢者がいる」など、地元のことをよく知っているからこそ、より状況に即した対応ができます。